

令和5年度 社会教育委員 第4回定例会議の概要

1. 日時	令和6年2月9日(金) 15:30~17:10
2. 場所	302会議室
3. 出席者	<p>【社会教育委員】7名出席(飯島委員 堀口委員 児玉委員 欠席)</p> <p>【市職員】小松教育長 小岩教育部長 宮坂生涯学習課長、 高島生涯学習主幹兼係長、丸山係長 宮坂社会教育指導員</p>
4. 会議内容	<p>【委員会の進行状況】</p> <p>1. 開会(宮坂課長)</p> <p>生涯学習基本計画について、臨時委員会で審議いただいたものは、今パブリックコメントを募集中である。生涯学習推進本部会議から教育委員会定例会に答申、3月議会総務文教委員会に報告の後、令和6年4月より後期計画に入る。</p> <p>2. ①あいさつ(教育長)</p> <p>大雪が降ったが、教育機関への被害はなかった。新型コロナウイルス感染症が5類になり、多くの事業が再開されている。市民の生涯学習への参加が戻ってきた。委員の皆様にはそれぞれの立場で、生涯学習の推進に尽力いただいたことに感謝する。五加小学校増築工事については、計画通り進んでいる。戸倉上山田中学校で行ったトークダンス、生徒、教職員に好評だった。今年度で退任される委員の皆様、ありがとうございました。退任後も、経験をもとに、側面から市の教育行政を支えてほしい。</p> <p>3. 会議事項(小林京子委員長:進行)</p> <p>(1) 研修会参加報告について(高島主幹兼係長)</p> <p>地域ぐるみの共有フォーラム(10/21 長野市篠ノ井交流センター) 社会教育委員4名 事務局 参加</p> <p>北信地区社会教育連絡協議会 理事会(1/26 中野市中央公民館) 小林委員長 事務局 参加</p> <p>(2) 令和6年度社会教育委員会議(関連事業)開催計画(案) (高島主幹兼係長)</p> <p>10月19日の地域ぐるみの共有フォーラムの分科会は事例発表を千曲市が発表予定。</p> <p>(3) 委員からの活動報告について</p> <p>宮坂委員:活動情報誌の原稿を執筆した。埴生公民館の運営委員と、埴生小学校、中学校の学校運営委員をしている。</p> <p>中島委員:サッカー協会の関係で、市のスポーツ協会が開催したスポーツチャレンジデーというイベントに協力した。今後も続けていきたい。明日は、フットサル大会が予定されており、射水市や新潟のチームも来る。</p> <p>塚原委員:姨捨の棚田見学会をやることができた。</p>

山崎委員：地区の人権推進委員をしている。勉強会を計画して実施した。通知を出して集まってもらうことの難しさを感じた。詐欺などで騙されてしまう話をしたが、だいぶ盛り上がった。

若林委員：社会教育委員は楽しく活動できた。自分の勉強になった。

小林副委員長：千曲市人権学習会が来月あるが、出席する予定。読書、読み聞かせがライフワーク。7カ月の赤ちゃんへの本のプレゼントに立ち会っている。ピアノの田島先生とコンサートを行った。100人近い方が来てくれた。

小林委員長：10年以上社会教育委員をやっている。千曲市ポッチャ協会を設立し、組織化するようにしている。稲荷山養護学校や作業所の方ともポッチャを楽しんでいる。いろいろな会合や研修、大会などに参加すると「地域で子どもを育てる」というキーワードが多いことに気づいた。今は、地域の子どもの交流も少ない。子どもたちも夏休みも外に出ずに家にいて、テレビや動画を見ている。この子達は大丈夫かと思う。今年は地域の公民館（分館）に地域の子を読んで、宿題や遊び、おひるごはんなどを一緒にできるような取り組みをしたいと考えている。補助金を探してみた。その補助金が出たら実現したい。

(4) 社会教育指導員からの報告について（生涯学習課 宮坂社会教育委員）

「学ぶ喜び 出合いの楽しさ」 公民館で学ぶ市民の姿から

- ・公民館で開かれている講座を見学して、千曲市の生涯学習のようすを知る。
- ・令和4年度に14、令和5年度に11の講座を見学した。
- ・講座見学では、講師の先生の言葉を大事にメモしたり、先生や受講者の方にインタビューしたりしている。また、自分も一緒にやることで参加されている方との距離が縮まる。
- ・講座見学した様子は、1枚のお便りにまとめて、受講者に配布したり、公民館に配信したりしている。また、千曲市ホームページにもアップしている。
- ・市民は、楽しく学んでいる、仲間と会えて一緒にできる、自分だけの時間が持てる、この先生に教えてもらえる、生活に張り合いが出る、身体の状態がよくなるなどの前向きな気持ちで学んでいる。
- ・課題として、講座で学ぶ市民は高齢者が多い、女性が圧倒的に多い、講座のアピールが充分ではない、公民館が使いにくいなどがある。
- ・中学生の部活の地域移行である千曲坂城クラブでは、総合文化部を立ち上げる予定。中学生が公民館で学んだり活動したりできそうである。生涯にわたって学ぶ礎になれたらいい。
- ・千曲市の目指す生涯学習が実現できるように、公民館での学びをもっと充実させていくようにしたい。

(5) その他（高島主幹兼係長 宮坂生涯教育課長 丸山係長）

生涯学習課所管事業の実施報告

モデルロケット 成人式 千曲万博

4. その他

- ・地震関係で、生涯学習課からも姉妹都市射水市へ1週間職員を1名派遣。
- ・教育部長あいさつ

地域で子どもを育てるということとして、中学生の部活地域移行が進んでいる。指導員が180名以上登録いただいております、地域で自分たちの子どもたちを支えていくことが求められている。これからもご支援ご指摘をお願いしたい。

【主な協議・意見・要望等】（進行：小林京子委員長）

（○は社会教育委員の質問、▲は事務局からの答弁）

3. 一（1）に関すること

○若林委員

子ども食堂の発表を聞いて千曲市の目玉だと思った。

- ▲ 上徳間の子ども食堂は、地域で支えてボランティアでやっている。行政が定めている範囲の補助でやっており、自腹を切っても趣味としてやりたいという考えである。志の高さを感じる。このような形の運営でやっていると地域の力がついていく。以前は市がリードしていたが、それぞれが特徴を持って運営してほしいと考えている。

○小林委員長

千曲市では子ども食堂はいくつあるのか。増えているのか。

- ▲ 上徳間、戸倉創造館、屋代公民館、稲荷山公民館などを使って実施されている。増やしていきたい方向。

○小林副委員長

子ども食堂の精神的、金銭的なメリットがないと難しいと思う。

○若林委員

食事作りの担当のお手伝いをしているが、本来来る人が本当に来ているのかと感じることもある。上徳間食堂はお年寄りも来ていることは素敵である。

- ▲子ども食堂を利用することに条件はない。対象を制限するといじめなどにつながってしまう懸念がある。

○小林副委員長

時代の流れでこういうものが増えていくことはよい。問題が出たら、行政が正して行ってほしい。

- ▲どうただせばいいか、わからないが、助けを必要としている人がいることに間違いはない。

○小林委員長

理想はだれでも来られること。子どもたちがお年寄りと接する場になる。仕事が終わった後の残りの人生をどうすごすか、そのあたりと社会教育がうまく流れるといい。社会教育委員も趣味を生かして人に喜んでもらうことが生きがいになる。

○小林委員長

北信地区社会教育連絡協議会に参加した。閉校になった校舎を使って作った素敵な施設があった。千曲市にも欲しいと思う施設であった。新聞についても社会教育委員がこのような素晴らしい新聞を作っていることに驚いた。

(4) に関すること

委員の感想

小林委員長：私も戸倉創造館の成人講座で「お菓子作り」に参加している。生徒は8人で男性2名。先生は、80歳になる方だが、生徒が喜んでもらえるのが自分の生きがいだから大変だけど、講師を続けていると話をしてくれる。生徒も楽しいし、先生も生きがい、それが理想だと思う。

小林副委員長：公民館報の編集委員長をずっとやっている。4月に募集を載せているが、毎年同じ形式で出さざるを得ない。図書館事情も取り上げてほしい。いろいろ課題があるが、少しずつ市民の方の顔を見ながらよい方向にもって行ってほしい。

塚原委員：いろいろな広報には出ているが、今日は実際に写真を見ながらこんなことをやっているとは初めて知ったことがたくさんあった。このように写真で何かの機会に紹介できるとよい。

小林副委員長：4月に公民館報で見開きの講座募集が出るが、これは3年やると一区切りでグループを作って学ぶような形。

中島委員：公民館のホームページには募集が出るのか？若い人は公民館報など見ない。ホームページとかでもっとアピールしたほうがいい。

小林副委員長：成人講座に行く人はホームページを見るような年齢ではない。公民館報で知らせている。

若林委員：人気の講座は、すぐに埋まってしまう。初めて上山田の文化祭に行った。いつもはおとなしい方が元気はつらつとして発表していた。生きがいを感じているのだとびっくりした。

小林委員長：女性は生きがいを感じ、さらに長生きになる。

5. 閉会（宮坂課長）